

経営比較分析表（令和4年度決算）

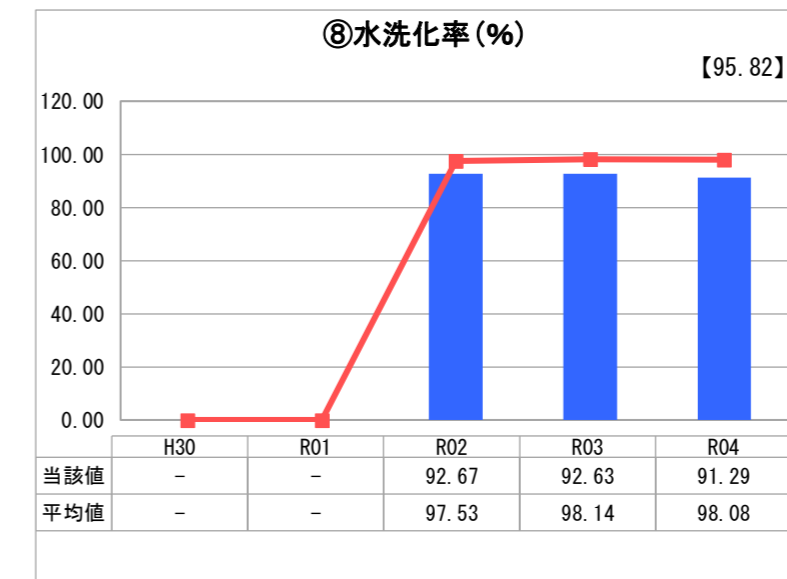
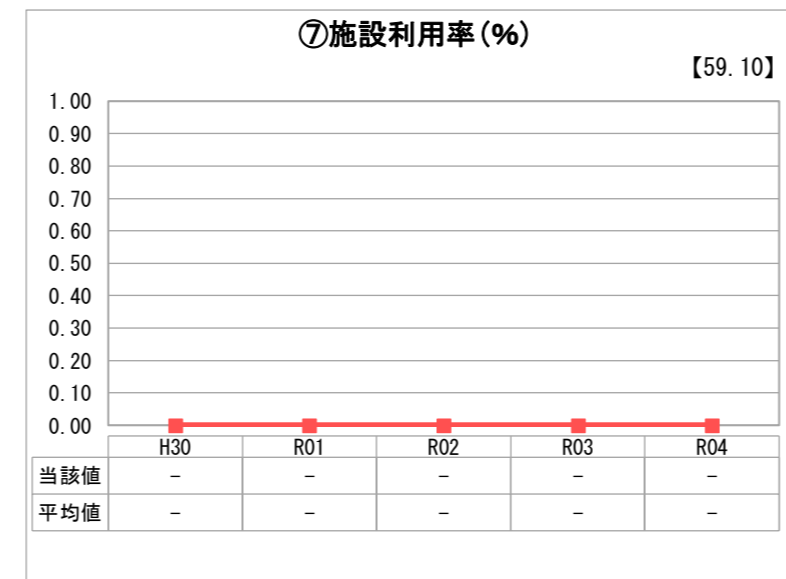
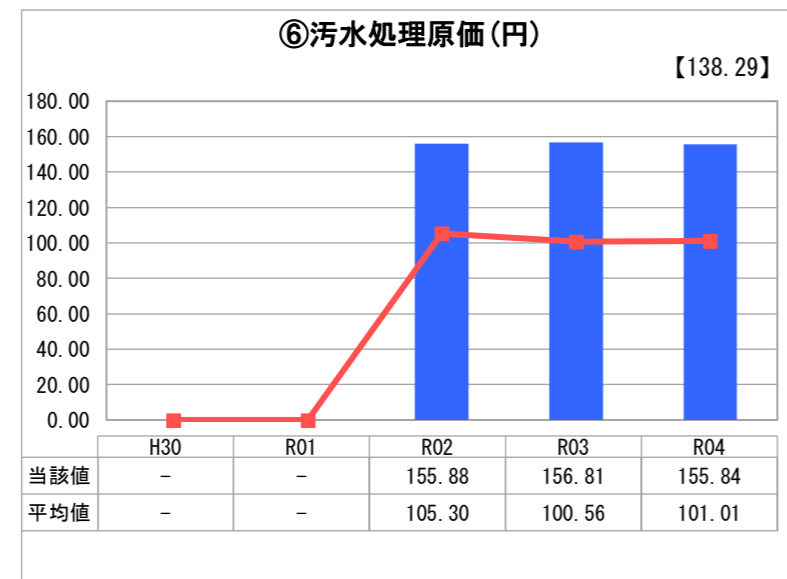
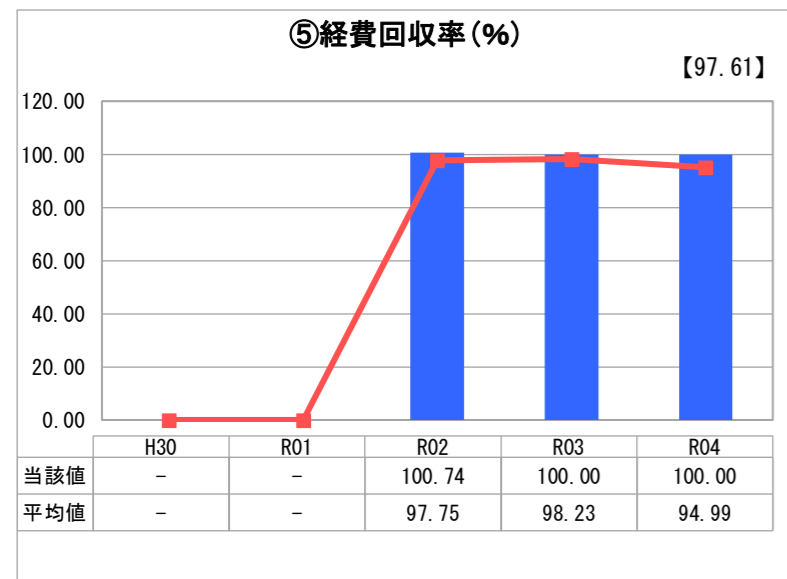
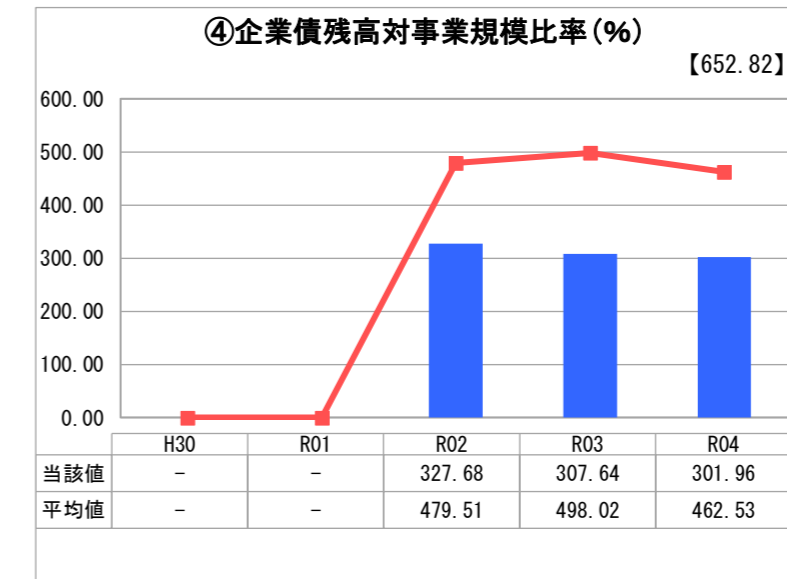
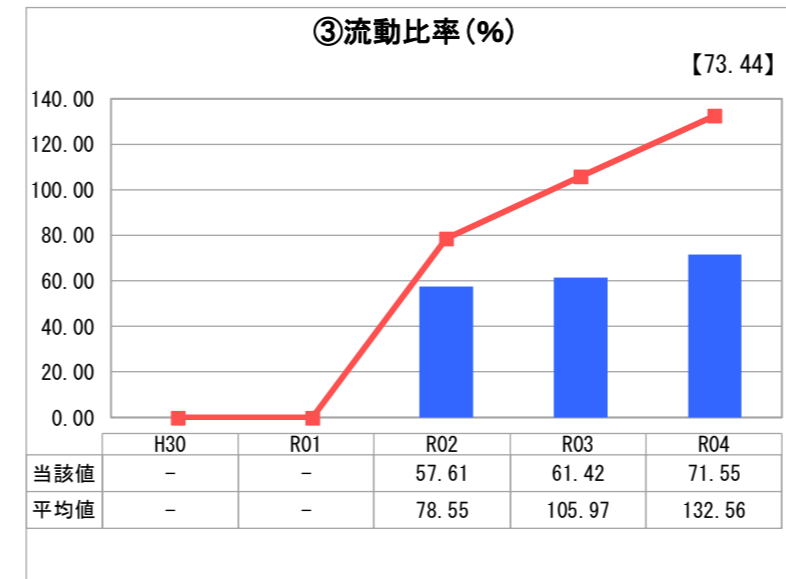
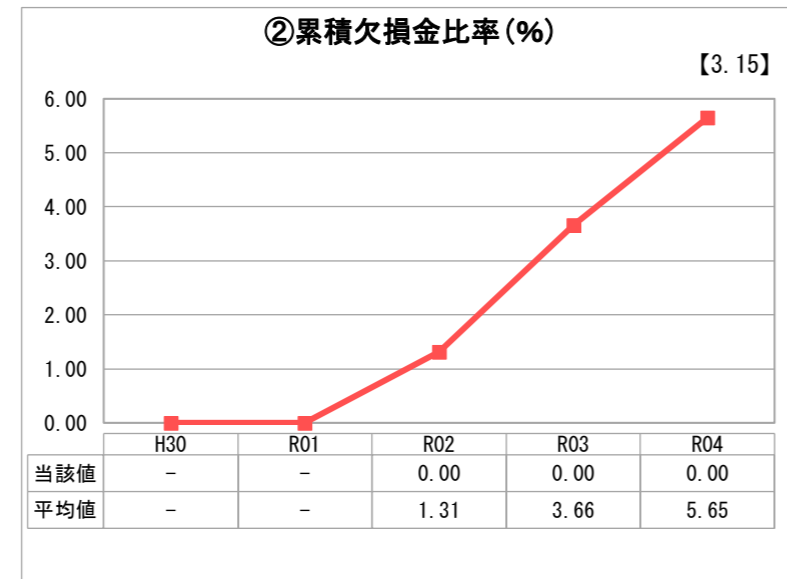
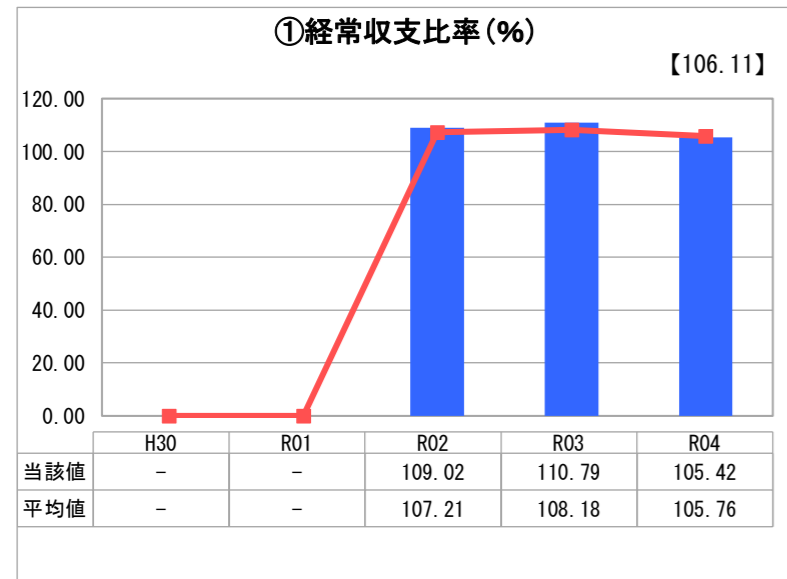
千葉県 鎌ヶ谷市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	公共下水道	Ba	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	73.50	70.84	75.66	2,698

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
109,564	21.08	5,197.53
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
77,540	6.88	11,270.35

グラフ凡例
■ 当該団体値(当該値)
— 類似団体平均値(平均値)
【】 令和4年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

①②⑤について
 経常収支比率、経費回収率ともに100%以上となっており累積欠損も生じていないが、経常収支比率が減少傾向にあるため、適正な使用料収入の確保及び汚水処理費の削減等により、100%を下回らないように健全経営に努める必要がある。

③④について
 平成当初以降、下水道未普及解消に向け積極的に整備を行ったことによる企業債の残高が高水準にあり、翌年度償還元金額が流動比率の水準を下回っていることから現金確保等の支払能力を高める経営改善を図る必要がある。

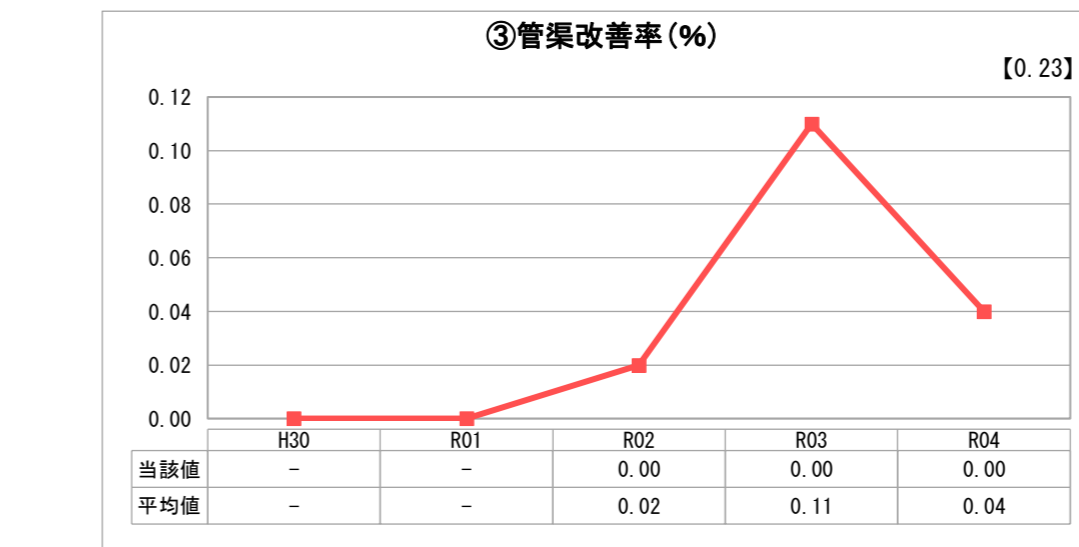
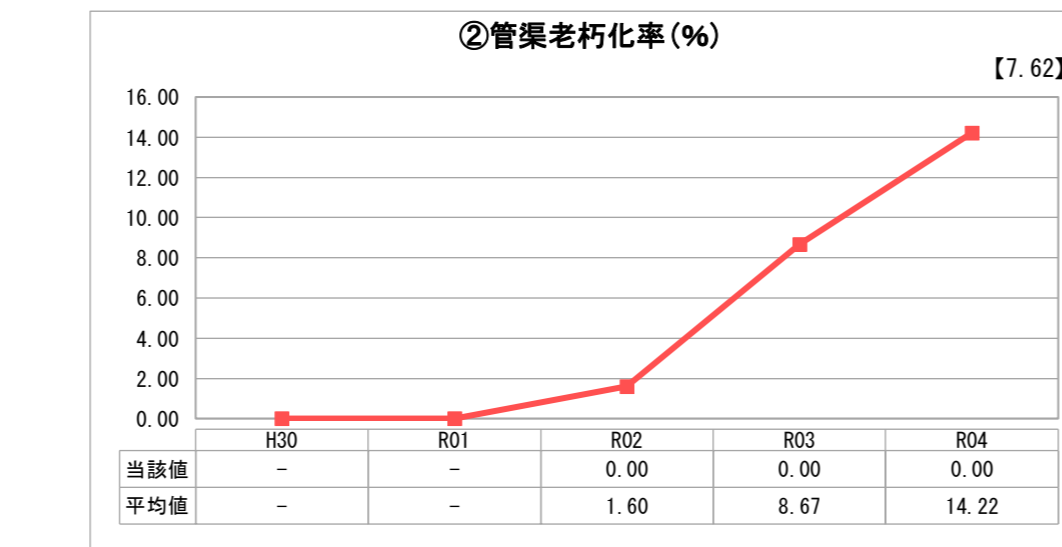
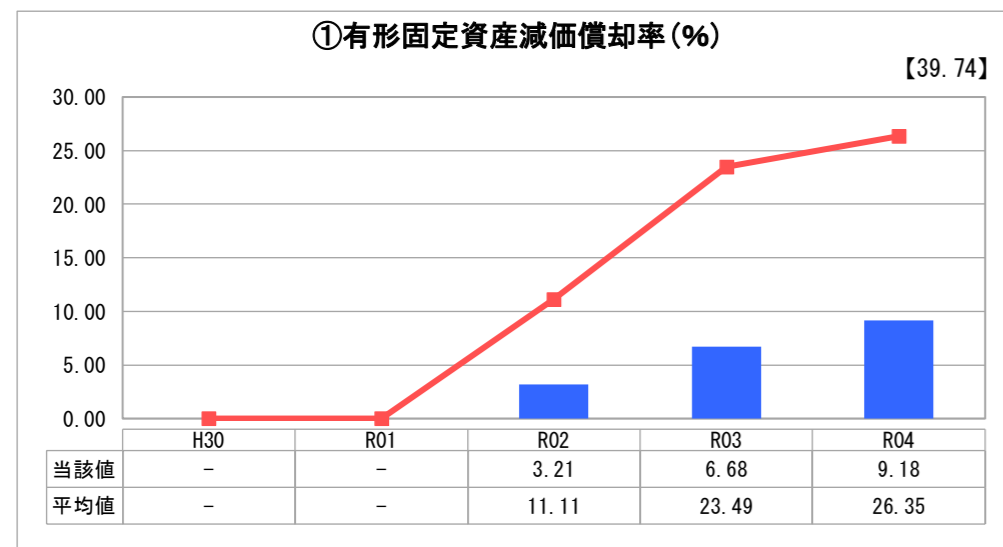
⑥について
 本市は3流域にまたがる流域下水道であり、各流域市からの不明水の流入等により類似団体・全国平均値それぞれを上回っている。

⑧について
 下水道未普及解消を進めており、処理区域内人口が毎年増加しているため、水洗化率としては横ばいとなるが引き続き接続者の増に努める。

2. 老朽化の状況について

当市は流域の最上流域に位置しており、近隣市と比較し下水道整備の開始が遅い（昭和59年より供用開始）ことから、耐用年数を迎えた管渠がないため、当該指標は類似団体・全国平均と比較し低水準となっている。
 しかしながら、今後も未普及解消に向けた整備を行いつつ、いずれは老朽化対策へ着手する必要があることから、ストックマネジメント計画に基づく点検・調査を実施し、管渠の健全度を把握・維持して行く必要がある。

2. 老朽化の状況



全体総括

普及率は約71%であり、引き続き未普及解消に向けた取り組みを行う。
 昨年度に続き、経常収支比率や経費回収率が100%を超えているものの、一般会計からの基準外繰入金を受け入れている状況である。
 また、今後は経年劣化による維持管理費の増加等が見込まれることから、定期的な使用料の見直しによる適正な使用料の確保、ストックマネジメント計画に基づく歳出抑制やコストの平準化による歳出抑制等の改善を行い、経営戦略を活用した安定した経営体制の構築を図る必要がある。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。